

第20回防衛問題セミナーの概要について

「日米同盟 ～CRF司令部のキャンプ座間への移転～」



主催者挨拶
山本局長



来賓挨拶：
遠藤座間市長

来賓挨拶：(上)ハリソン在日米陸軍司令官、(中)日高中央即応集団司令官
(下)小池相模原市副市長

平成25年1月29日(火)、神奈川県座間市のハーモニーホール座間において、第20回防衛問題セミナーを開催しました。

今回のセミナーは、「日米同盟 ～CRF司令部のキャンプ座間への移転～」をテーマに、中央即応集団司令部が今年度末に朝霞駐屯地からキャンプ座間に移転する機会を捉え、在日米軍司令部との連携強化等、日米の防衛協力における実効性の向上についてご理解をいただき、CRF司令部の円滑な移転に向けた地域の皆様のご支援、ご協力が得られるよう開催したものです。

山本局長による主催者挨拶及び座間市長等による来賓挨拶の後、CRF司令部の移転により日米間で一致団結し取り組んでいく気持ちと、地域の方々との常続的な友好を表し、関係者による固い握手が交わされ、会場を訪れた約340名の参加者からもCRF司令部の移転について歓迎の拍手が鳴り響きました。



講演1:「CRFの任務と役割」の一端

中央即応集団司令部幕僚副長 青木1等陸佐

- ・CRF司令部の任務と役割、隷下部隊などの概括説明
- ・東日本大震災における福島での原子力災害派遣時の活動(記録映像を上映)
- ・南スーダンでのPKO活動(派遣隊長からのビデオレター)など

講演2:「国土防衛における日米同盟の意義」の一端

日本経済新聞社国際部編集委員 春原剛氏

- ・台頭する中国の狙い、米国のアジア重視の背景にある中国の戦略
- ・国土防衛における陸上戦力の重要性は不変
- ・CRF司令部の移駐により在日米陸軍司令部との連携強化の意義など



セミナー開催前に座間、相模原両市の地元自治会関係者等を対象としたキャンプ座間基地内ツアーを実施し、2月末の完成に向け建設中の司令部庁舎及び隊舎の外観などを視察し、地元の方々への理解促進の一助になったものと考えています。(左写真:ブリーフィング会場)